

## 岡山県障害者（児）施設サービス自主評価結果（公表用）

施設名：グループハウスひるぜん

施設所在地：岡山県真庭市蒜山上長田 2300-1

施設種別：共同生活介護

運営主体：社会福祉法人 慶光会

施設長名：東山 美子

評価月日：令和2年3月31日

評価項目（中項目）	評価結果
I-1 理念・基本方針	評価：A 事業指針、倫理綱領についてはホームページやパンフレットに記載されていることと、職員への配布も行い周知はされている。各ホームにも掲示されている。
I-2 計画策定	評価：B 利用者が地域の中で楽しみを持ち、豊かに感じられる生活が送れるように、また「楽しみのある生活ができるように支援を行う」という事を事業計画に示し、日々の状況把握を行いながら、活動の提供を行っている。
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	評価：A 連携の取りやすい職場環境や組織作りを行い、働きがいのある仕事であるように力を入れていきたい。そのためには自己研鑽や情報収集に努めていきたい。
II-1 経営状況の把握	評価：A 社会情勢の中から情報収集を行い、経営分析は適宜行われている。直接処遇職員まで浸透しきれていない。
II-2 人材の確保・養成	評価：B 安定した事業運営のために、人材確保に努めている。研修については、コロナ禍の影響が大きく研修参加の機会も減少したが、職員の資質向上のためにもオンライン研修などへの参加をしていく必要がある。
II-3 地域との交流と連携	評価：B 地域交流の取り組みイベントとして「ふれあい祭り」「福祉運動会」等の法人での取り組みがコロナ禍にて中止になった。また、外出の機会が減少したことで地域との交流機会も減少した。地域への外出や、イベントへの取り組みを社会の状況を見ながら取り組み、障害理解に繋げて行きたい。

評価項目（中項目）	評 価 結 果
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	<p>評価：A</p> <p>職員会議において、人権委員会を中心に人権擁護、虐待防止などについて職員間で討議した。利用者個々に応じた支援が提供できるように、職員間の打合せなど随時行うようになってきている。</p>
Ⅲ-2 サービスの質の確保	<p>評価：A</p> <p>報告、連絡、相談を重視しながら、細かな打ち合わせや会議を持ちながら情報共有に努めている。記録を重視し、状況把握を行い支援の組み立てを行っている。打ち合わせや記録の中から、捉えられた問題や課題を迅速に対応できるようになってきている。今後も継続的に行っていきたい。</p>
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	<p>評価：A</p> <p>サービス開始時の説明や契約書の取り交わし、同意事項の書面での確認は行っている。利用者に理解しやすい資料や工夫ははされているが、より理解しやすい説明などの工夫も必要と考えている。</p>
Ⅳ-1 利用者に応じた個別支援プログラム	<p>評価：B</p> <p>個々の状況を漏れなく把握できるよう、生活場面の情報収集にとどまらず、日中の各事業所との連携を進めている。日頃の面談についても、視点を持った面談が行えるよう実施している。また、状況に応じてケア会議を開催し状況変化を見逃さないようにしている。</p>
Ⅳ-2 日常生活支援サービス	<p>評価：B</p> <p>利用者の年齢や生活スタイルの嗜好など、さまざまなニーズに応じた支援ができるよう、職員のみでの支援にとどまらず、地域の資源も活用しながら生活支援を行っている。今後も地域の情報を収集しながら、利用者がより豊かな生活を送ることができるよう、継続的に取り組んでいきたい。</p>
Ⅴ-1 生活環境の整備	<p>評価：B</p> <p>利用者の生活が安全に送れるよう、備品の整備や住環境の整備を順次行ってきている。</p>
Ⅵ-1 緊急時の対応	<p>評価：A</p> <p>緊急対応ができるよう警備会社と契約をしている。事故報告やヒヤリハットで改善につながるよう振り返りを行っているが、まだまだ力を入れていく必要がある。また、日常的な支援に関わる世話人を対象とした救急蘇生法に取り組んだ。</p>
Ⅶ-1 就労意欲の醸成	非該当

- \* 着眼点の項目等を参考に、具体的な実施（達成）の状況や、未実施の場合はその理由など評価における根拠とともに、今後の改善計画（方針）なども記載してください。
- \* 「Ⅶ-1 就労意欲の醸成」欄は、授産施設のみが該当します。